

目次

凡 序 口  
例 文 絵

第五編 近現代

はじめに……………三

明治期……………二

第一章 政 治……………二

第一節 筑摩県・長野県の成立……………二

版籍奉還と廃藩置県／筑摩県の成立／戸籍

区と区制

第二節 地租改正……………二五

地租改正／地租軽減運動

第三節 明治初期の村の成立……………一九

明治初期の村の合併／郡制の誕生／戸長役  
場と連合戸長役場／町村・郡会制と村会・

郡会議員

第四節 兵役制度と日清・日露戦争……………三

兵役制度の動き／軍人援護活動の動き／日清戦争と諏訪地方／日露戦争と諏訪地方

第五節 警察・司法制度の発達……………三

警察の変遷／裁判所の推移／登記所の設置

第六節 自由民権運動と国会開設……………三

第二章 農林漁業……………

第一節 地租改正と農民の負担……………三

地租改正条例／地租改正と耕地／地租改正と負担

第二節 農業生産と農業団体……………六

農業生産の変化／主穀農業／稲作栽培／稲作の進歩／養蚕の勃興／養蚕の普及／蚕種製造／蚕種法の改善／蚕種の検査／農会の設立／産業組合の設立

第三節 水利と水利紛争……………六

八ヶ岳・蓼科山麓の水利と紛争／滝之湯堰とその紛争／大河原堰とその紛争／鳴岩川・柳川関係堰とその紛争／その他の堰

自由民権運動と政治結社／明治天皇巡幸／県会と国会開設

第七節 明治期の財政……………三

初期の財政／後期の財政

第四節 入会林野の争論と変遷……………三

明治期の林野／入会慣行／茅野草山入会争論／中野官林と上野手・下野手／祖原経界争論／中沢山荊藪木争論／古田山入会争論／安国寺山入会争論／古田山民有地引き直し／南大塩山民有地引き直し／北大塩山民有地引き直し／後山・大畑山民有地引き直し／高部山民有地引き直し／芹ヶ沢山共有権争論／柏原山共有権争論／南大塩山分割／南原山分割／下原山分割／古田山内山分割／大泉山・小泉山営林／芦田山入山と買収／その他の林野



第五節 漁業と猟業……………一四

漁業／猟業

第三章 製糸業……………一七

第一節 明治前期の製糸業……………一七

維新期の製糸業／座繰りから器械製糸へ／

大製糸工場の出現／製糸結社／工女就業約

定証／繰糸技術と賞罰／原料繭の産地／生

桑作の奨励

糸の販売と金融

第二節 盛んな器械製糸……………一五

第四章 鋳工業……………一六

第一節 鋳製造業……………一六

諏訪鋸の継承系統／金山講と徒弟制度／鋸

寒天製造業の概要／信濃寒心太諏訪組合の

創立／中央線開通と寒天業の発展

の地区問屋と行商販売／原材料の入手経路

第三節 醸造業の設立……………一七

と販路の拡大

酒造業／味噌醸造業

第二節 寒天製造業……………一七

第五章 商業と金融……………一七

第一節 在来の商業活動……………一七

街道筋と村々の商業／塩の移入

第二節 商業活動の芽生え……………一八

穴山の商業／矢ヶ崎・塚原の商業と水車稼

ぎ／茅野（宮川）の商業／農村部の商業

第三節 茅野市域の銀行設立以前の金融…………… 一三

開産社／民間の金融

第四節 茅野市域の私立銀行と産業組合…………… 一九

諏訪銀行／宮川銀行／富士見銀行／信濃実業銀行／信濃実業貯蓄銀行／銀行類似会社の設立／第十九銀行の諏訪進出／産業組合の成立／郵便貯金の動き

第六章 交通・通信…………… 二〇五

第一節 交通運輸業の推移…………… 二〇五

伝馬所／陸運会社と陸運元会社／内国通運

会社／中牛馬会社／乗合馬車と人力車

設／茅野停車場位置問題／青柳停車場の開設／停車場設置にともなう道路改修／鉄道

第二節 道路・橋梁の整備…………… 二一〇

道路整備／道路の開削と改修／橋梁の整備

第四節 郵便・電信・電話事業の開始…………… 二一四

郵便取扱所の設置／郵便事業の進展／電信

第三節 中央線の開通…………… 二一六

鉄道敷設／中央線の誘致運動／中央線の敷

局の設置／電話業務の開始

第七章 観 光…………… 二三四

第一節 湯治場と名勝…………… 二三四

山の湯治場／名勝・行楽地・宿駅

第二節 湯治場の変遷…………… 二四〇

蓼科の温泉



第八章 社会・厚生……………二四

第一節 明治の変革と社会生活……………二四

四民平等と戸籍法／村の生活

第三節 災害と防災……………二五

繰り返される水害／消防組織の成立

第二節 保健衛生と医療……………二六

伝染病の流行／衛生行政と衛生思想の向上  
／医療の進展

第四節 明治・大正期の救貧制度……………二六

救貧制度の芽生え

第九章 宗 教……………二七

第一節 神仏分離と除仏……………二七

神仏分離／除仏

御頭郷／御柱祭……………二八

第四節 茅野市域の神社・寺院および諏訪

第二節 神社制度の変革と国家神道の確立……………二八

社寺地の上知（地）と復旧／氏子調べの制

福田会の活動……………二九

茅野市域の神社・寺院／諏訪福田会の活動

度／世襲制度の廃止と社格の制定／社寺の

各種教団の布教の始まり……………二九

合併と国家神道の確立

天理教／キリスト教の動き

第三節 御頭郷と御柱祭……………三〇

## 第十章 教育と文化……………二六六

## 第一節 近代教育の発足……………二六六

学制頒布と小学校の設立／永山権令の就学

督励／教育課程と試験／「校則」と生徒心

得／教育制度の改変

中学校と女学校の創設／大同義塾（私塾）

とその教育／明治後期の教育

## 第三節 学芸とその他の文化活動……………三〇二

俳句・短歌の革新運動／その他の文化活動

## 第二節 近代教育の拡充……………二九四

## 大正期……………三〇三

## 第一章 政 治……………三〇九

## 第一節 米騒動と海外移民……………三〇九

米騒動／北海道移住と海外移民

## 第三節 護憲運動の展開……………三五五

護憲運動の動き

## 第二節 大正期の選挙と普通選挙運動……………三一

衆議院議員と県会議員の選挙／郡会議員と

村会議員選挙／普通選挙の運動

## 第四節 村の財政と郡制廃止……………三七

税と村の財政／郡制の廃止



第二章 農 林 業……………三三

第一節 養蚕業の発展……………三三

養蚕業の発展／養蚕の消長／養蚕と雇用／

桑の改良／蚕種製造業の転換期

第二節 農業経営の変化……………三七

米作技術の進展／農機具の普及／農会の活

動／出稼ぎと副業

第三節 水利と水利紛争……………三九

滝之湯堰と大河原堰との紛争／五ヶ村堰と

第三章 製 糸 業……………三三

第一節 中央線開通と製糸業の発展……………三三

中央線の開通前後と製糸／倉庫業と製糸業

／県外に進出した茅野の製糸

第四章 鉱 工 業……………三〇

第一節 地場産業の発展……………三七〇

鋸製造業／寒天製造業

第二節 発電所の設立と電化……………三七〇

電灯のついた時期／発電所の建設

## 第五章 商業と金融……………三〇

## 第一節 中央線の開通と商業の発展……………三〇

茅野駅前商店街の形成／矢ヶ崎商店街の発展／茅野（宮川）商店街の発展／青柳駅前の開発と商業

## 第二節 第一次世界大戦と金融業……………三三

大正期の銀行の動向／高島銀行の動向／東部興信株式会社の開設

## 第六章 交通・通信……………三六

## 第一節 私鉄鉄道敷設計画……………三六

盛んな鉄道敷設計画／佐久諏訪電気鉄道／諏訪電気鉄道

## 第三節 通信の発達……………三四

自動車業のおこり／自動車交通の発達  
電話の普及

## 第二節 自動車の発達……………三九〇

## 第七章 観 光……………三六

## 第一節 山の湯の進展と八ヶ岳登山……………三六

蓼科温泉湯治園の拡大／児童高山保養訓練

の開始とその影響／八ヶ岳登山人口の増加



第八章	社会・厚生……………	四七
第一節	村の生活……………	四七
村の生活／米騒動……………		
第二節	保健衛生と医療……………	四九
流感と結核／医療機関の変せん……………		
第九章	宗  教……………	四三
第一節	諏訪神社の官幣大社昇格と明神講社……………	四三
官幣大社に昇格／明神講社の動向……………		
第二節	各種教団の動き……………	四四
天理教／キリスト教……………		
第十章	教育と文化……………	四五
第一節	近代教育の発展……………	四五
補習学校の教育／青年学校／大同義塾と湖 畔学堂の教育／自由主義教育運動の展開……………		
第二節	文芸と文化・娯楽……………	四三
短歌と俳句の盛行／諏訪史談会の創立と郷 土史研究／新聞店の創設と中央新聞の普及 ／劇場の創設と娯楽……………		

## 昭和前期……………四九

## 第一章 政 治……………四九

## 第一節 昭和恐慌期とその動向……………四九

昭和恐慌の発生／恐慌と社会問題／恐慌下の村財政／満州事変と動員／農村の経済更生運動

## 第四節 満州移民……………四三

## 第二節 日中戦争と戦時体制……………四九

日中戦争と国民精神総動員／国家総動員体制の形成／大政翼賛会と翼賛壮年団／村区常会の動向

## 第三節 満州移民……………四四

太平洋戦争と臨戦体制……………  
 太平洋戦争の勃発／翼賛選挙／警防団の発足と防空体制／大日本青少年団の結成／食糧確保の対策／甲種農兵隊の活動／北山青年修鍊道場の設立／貯蓄の奨励と国債の割り当て／国民徴用制度の発足／学徒の動員／学童の疎開／工場・大学などの受け入れ／国民義勇隊の編成と敗戦

## 第二章 農 林 業……………四七〇

## 第一節 恐慌下の農業……………四七〇

恐慌下の農業／農村の不況対策／養蚕の転換／米作の増産／農会の活動

食糧の増産／米穀統制と農家／生産条件の悪化と皇国農村／農業会の設立／八ヶ岳修練農場の創設

## 第二節 戦時体制下の農業……………四七

## 第三節 水利と水利紛争……………四七六



滝之湯堰と湯川区との紛争／新堰の開削

第四節 入会林野の営林と分割…………… 四六

営林奨励／藤原山共有権争論／片倉山共有

権争論／大沢山分割案／上原山分割／古田  
山外山分割／大泉山分割／小泉山分割／安  
国寺山分割

第三章 製糸業…………… 五六

第一節 不況下の製糸業…………… 五六

不況にあえぐ製糸業／組合製糸の推移／戦

時体制下の製糸業

第四章 鉱工業…………… 五四

第一節 地場産業の発展…………… 五四

鋸工業／寒天製造業界の趨勢／凍豆腐製造

第三節 金属機械工業の疎開…………… 五九

製糸業の衰退／機械工場などの疎開

第二節 鉱山の開発…………… 五三

諏訪鉄山の採掘／宮川鉱山／静香鉱山

第四節 醸造業の成長…………… 五三

味噌醸造業／酒造業

第五章 商業と金融…………… 五四

第一節 恐慌期の商業活動…………… 五四

不況下の農村と商業の不振／商店の整理と

転業

第二節 経済恐慌と金融業…………… 五六

## 昭和恐慌と銀行の動向／銀行の整理統合

第六章 交通・通信……………五二

第一節 道路改修……………五二

救農工事による道路改修／市内の道路改修

第三節 戦時下の通信……………五七

第二節 恐慌下・戦時体制下の陸運……………五四

自動車業の統合／戦時下における自動車輸

送／戦時下における鉄道輸送

電話通信／戦時下の通信

第七章 観光……………五二

第一節 保健休養地への展開……………五二

蓼科高原保養地の形成／戦時体制下の蓼科

温泉

第八章 社会・厚生……………五七

第一節 戦時体制下の社会と生活……………五七

戦時体制／迫ってくる耐乏生活

住民の疾病／保健行政と医療

第二節 戦時体制下の保健衛生と医療……………五八

第三節 災害と防災活動……………五八

災害と住民の生活／戦争の激化と防災活動



第九章 宗 教…………… 五三

第一節 氏子組織の確立と神社…………… 五三

国民精神の作興／諏訪神社の氏子会の結成  
／諏訪神社の社会教化事業

第二節 戦時下の教団宗教…………… 五六

仏教界の動き／キリスト教への弾圧

第十章 教育と文化…………… 五八

第一節 戦時教育への移行…………… 五八

二・四事件／永明小学校の再建／鴛湖村塾  
／農村教育／戦時下の教育

第二節 学芸の動向…………… 五九

尖石遺跡の発掘／大衆文学と国枝史郎／農  
民美術運動

戦 後…………… 五七

第一章 政 治…………… 五七

第一節 占領政策と民主改革…………… 五七

占領政策／農地改革／町内会・区会の廃止  
／海外引き揚げ者の援護／食糧事情の深刻  
化／戦後の選挙／自治体警察の発足

一町八か村の合併／市制施行

第三節 茅野市一般会計の推移と市役所行

政機構の変遷…………… 六〇

茅野市の一般会計の推移／行政機構の変遷

第二節 茅野市の町村合併と市制施行…………… 六六

第四節 茅野市の施設・施策と展望…………… 六五

茅野市の市章／市歌の制定／市の木・市の花／市民憲章の制定／姉妹都市の提携／茅

野市の展望

第二章 農林漁業…………… 六五

第一節 農地改革…………… 六五

敗戦直後の農業経営／農地改革の実施

農業会の解散と農業協同組合の発足／農業協同組合の活動／農業協同組合の合併

第二節 振興期の農業…………… 六三

食糧危機と増産／開拓事業と入植／稲作の生産性の向上／洋菜の導入と振興／花き園芸の振興／役畜から用畜へ／養蚕の回復と消長

第六節 水利と水利紛争…………… 六九

溜之湯堰と大河原堰との紛争／土地改良区／五ヶ村堰と九ヶ村堰との紛争／水田開発と水利紛争／観光開発と水利紛争／水利慣行

第三節 新農政の展開…………… 六六

新農村の建設事業／農業構造改善事業の実施／農業の兼業化／水田利用再編対策の実施

第七節 溜め池…………… 六三

溜め池の造成／蓼科ダムの造成計画

第四節 商品生産の農業…………… 六六

銘柄米の作付けと稲作の機械化／産地化する洋菜／成長する花き園芸

第八節 営林と入会権解消…………… 六八

戦後の林野経営／柏原山入会権解消／藤原山入会権解消／北大塩山入会権解消／上桑原山分割／片倉山分割／大沢山分割

第五節 農業協同組合の活動…………… 六五

第九節 漁業…………… 六九

漁業組合／魚種と禁漁・解禁



第三章 工業……………七〇一

第一節 地場産業……………七〇一

鋸工業／寒天製造業界の諸問題

第二節 戦後の工業発展……………七〇二

軍需から民需へ／製糸業の復活と終焉／復興する機械工業／高度成長期の精密機械工

第三節 醸造業の発展……………七〇六

味噌醸造業／酒造業

業／新産業都市の指定／盛んな工場誘致政策／安定成長期の工業

第四章 商業と金融……………七〇三

第一節 戦後混乱期の商業……………七〇三

物資不足と闇商売／商業の自由化

第二節 経済の発展と商業の推移……………七〇三

商店街の復旧と発展／商店の大型化と大企業  
業の進出

第四節 茅野市の金融機関の動向……………七〇七

預金封鎖と経済の動き  
八十二銀行／長野県信用組合茅野支店／長野相互銀行茅野支店／諏訪信用金庫（茅野・本町・宮川支店）／太陽神戸銀行茅野代理店／農業協同組合と郵便貯金

第三節 敗戦後の金融の動向……………七〇五

第五章 交通・通信……………七〇一

第一節 鉄道交通と自動車交通の発展……………七〇一

鉄道交通の近代化／自動車交通の発展／日

本通運の再編成

第二節 新道路の建設と道路整備……………七〇七

道西宮線／八ヶ岳山麓開発道路／道路整備	七五
第三節 通信事業の進展	七五

戦後初期の通信事情／郵便事業の進展／電  
信・電話事業の進展

## 第六章 観光

第一節 高原観光地への発展	六三
---------------	----

観光事業の振興／観光交通網の形成とビー  
ナスラインの建設／観光資本の進出と地元  
の対応／中央自動車道の開通と高原観光地

第二節 観光開発の問題と茅野市観光の課 題	六六
--------------------------	----

観光開発と自然保護／茅野市の観光課題

## 第七章 社会・厚生

第一節 民主化と経済の発展	六八
---------------	----

新憲法と民主化／耐乏生活から経済の発展  
へ／住宅団地の造成

第四節 災害と防災の近代化	八三
---------------	----

／火葬場・公園墓地の造成  
災害／防災の近代化

第二節 住民の疾病と医療	八三
--------------	----

戦後の混乱と住民の疾病／医療の普及と充  
実

第五節 公害防止	八元
----------	----

公害行政／水質汚濁／騒音公害

第三節 環境衛生の拡充	八六
-------------	----

上下水道の普及／ごみ・不燃物・し尿処理

第六節 社会福祉の向上	八三
-------------	----

公的扶助／軍人・軍属・海外引揚者の援護  
／社会福祉の向上／社会福祉制度の充実



第八章 宗 教……………八四〇

第一節 敗戦と宗教……………八四〇

諏訪神社の制度の变革

第二節 仏教界の動き……………八四二

仏教界の動向

第三節 各教団の動き……………八四二

天理教／立正佼成会／創価学会／茅野カト

リック教会／茅野キリスト教会

第九章 教育と文化……………八四七

第一節 学校教育……………八四七

占領下の教育／新学制の実施／新制高等学

校／教育委員会の設置／PTAの発足／週

五日制の授業／学校給食の始まり

第二節 社会教育の進展……………八五五

第三節 学芸と娯楽……………八五二

テレビの普及と劇場／学芸の興隆

## 第六編 民 俗

はじめに…………… 八六九

第一章 衣・食・住…………… 八七〇

第一節 機織りと衣生活…………… 八七〇

機織り／移り変わった衣料／織り機の変遷

／機織り用語と用具／服装の洋式化と機織

りの衰退／野良着と普段着

第二節 昔の食べものと用具…………… 八七〇

食べなくなった昔の食料／米の代用食／冬

第二章 家族と同族…………… 八七二

第一節 家族と相続…………… 八七二

家族／奉公人／家長と主婦権／相続と隠居

／末子相続／養子

第二節 親族と同族…………… 八七三

本家・分家と同族／祝い神

の保存食にした山菜など／使われなくな

た食の用具

第三節 古い家…………… 八七六

江戸中期ころの家／明治・大正ころの家／

金沢宿の家



第三章 人の一生

第一節 結

婚

九〇

縁談／見合い／仲人／手じめ酒／結納／婚  
礼の季節／見立てと婿入り／嫁荷運びと嫁  
迎え／嫁入り／祝儀の席／お歯黒祝いと床  
入り／あとふき／嫁の近所回りと披露／里  
帰り／縁起物と忌み言葉／出入り初め／離  
婚と再婚

第二節

出産と育児

九四

妊娠と帯祝い／帯祝いの忌み／初産／産部  
屋／出産／後産／産後／こんぼこと哺乳／  
難産／厄子と双生児／子供の育たない家／  
間引き／三つ目と七夜の祝い／命名／宮参  
り／誕生日まで

第三節

年齢に伴う諸儀礼

九六

初誕生／帯結びと袴着の祝い／七つ坊主／  
一三の祝い／元服と初潮の祝い／成人式／  
厄払い／銀婚式と金婚式／五八の祝い／還  
暦の祝い／古稀と入りの祝い／喜寿の祝い  
／米寿の祝い／白寿と桃の祝い

第四節

年齢集団

九七

子供組／若者組／その他の組織

第五節

葬 送

九九

死亡／通夜／同年齢者の死／湯灌／死者の  
身支度／納棺／門牌／葬式の準備／香華料  
とお返し／葬儀と出棺／葬儀の行列／穴回  
りと埋葬／野帰り／葬式後の諸行事／法事  
と年忌／墓地／両墓制の墓地／特別な葬法  
／神葬

## 第四章 年中行事

## 第一節 昔の年中行事……………1000

## 大正月の行事

二年参り・初もうで／元旦の食事／年始回り／仕事始め／恵比須様の年取り／蟹の年取り／七草粥／お蔵開き・作始め

## 小正月の行事

小正月の準備／農具の年取り／年取り／どんど焼きと厄払い／鳥追い・餅粥／お斎日・墓参り／山の神参り／二十日正月・晦日正月

## 春・夏の行事

節分／初午／御事八日(事始め)／針供養／雛の節句／春の彼岸／灌仏会／菖蒲の節句／田植え祝い・農休み／虫送り／祇園祭り／灯笼建て／たなばた／丑の日

## 盆・秋の行事

## 暮れ(十二月)の行事

盆棚飾り・迎え火／お斎日・盆送り・送り火／十五夜／秋の彼岸／十日夜(十寒夜)／十三夜／恵比須講／稻上げ・こぼし上げ／二十二夜・二十三夜・二十六夜

## 第二節

今日行われている年中行事……………1013

川びたり／御事八日(事仕舞い)／煤はらい／門松採り／新御魂／餅搗き／暮れ勘定／松飾り・注連飾り／年棚／洗い出し／お御魂の飯／お年取り

二年参り・初もうで／蟹の年取り・七草粥／小正月の餅とまゆ玉(稻の花)／万物作・柳・ぬるでの箸／どんど焼き／節分とお事八日／桃の節句・端午の節句／お盆の行事／お正月の準備



第五章 言語伝承……………1011

第一節 方言……………1013

茅野市域の方言

第二節 柏原の方言……………1015

変化の特徴／会話の例／方言の抜粋

第三節 民謡と童謡……………1015

エーヨー節／天屋節／童謡

第四節 伝説……………1015

銭岩の話／御座岩の話／音無川の話／お茶

清水の話／休息石・湯殿坂・国道／冷山・

年表……………1017

索引

あとがき

波の湯／城山と関守伝十／勝山の話／デ  
ラポッチの話／弘法さまの清水／樽姫の滝  
にかかわる伝説／坂室の古屋敷の話／やま  
犬（おおかみ）に食われた旅人／やまみの  
じいさんとやま犬／金鶏金山の蓮華坊／常  
官寺の話／ゆるぎ石／坂室の赤石とおこり  
石／滝の湯道の鬼石／だるま石／上広見の  
餓鬼石／福沢の夜泣き石／福沢の夫婦石／  
福沢の絵かき石